

# 平成31年度学校自己評価システムシート (県立豊岡高等学校)

# W10

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 目指す学校像 | 地域に根ざし、豊かな人間性を培う進学校 |
|--------|---------------------|

|      |   |
|------|---|
| 重点目標 | 1 学力向上に向け、授業改善に取り組む<br>2 個々の生徒の進路希望に応じた指導を充実させる<br>3 基本的な生活習慣の改善を図るとともに生徒の自律性を養う<br>4 生徒会行事・部活動を充実させ、主体的な学校生活に取り組みさせる<br>5 開かれた学校づくりに取り組む |
|------|---|

|     |   |             |
|-----|---|-------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成(8割以上)  |
|     | B | 概ね達成(6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し(4割以上) |
|     | D | 不十分(4割未満)   |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

|     |          |    |
|-----|----------|----|
| 出席者 | 学校関係者    | 4名 |
|     | 生徒       | 7名 |
|     | 事務局(教職員) | 7名 |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 |  |                                     |  |   | 年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )  |     |  |
|-------------|--|-------------------------------------|--|---|--|-----|--|
| 年 度 目 標     |  |                                     |  |   | 年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )  |     |  |
| 番号          | 現状と課題  | 評価項目                                | 具体的方策  | 方策の評価指標   | 評価項目の達成状況  | 達成度 | 次年度への課題と改善策  |
| 1           | 生徒が授業に臨む姿勢は、概ね良好である。進路実現に向けて、さらなる学力の向上のため、授業、豊高ゼミ、進学講習、家庭学習などにおいて、積極的な学びの定着と、「豊高手帳」の活用を通じた、自己管理、自学自習の確立が課題である。                 | 授業の予習復習を含めた家庭学習の定着や、時間の有効活用を促す。     | ①生徒の積極的な取り組みの機会を増やすための研修を行い、課題の出し方等を含め、指導方法を工夫する。<br>②「豊高手帳」の積極的な活用による自己管理を通して、家庭学習の時間を確保し、定着を図る。<br>③授業3ヶ条が学校(生活)に定着するよう、機会をとらえて生徒に呼びかける。 | ①生徒の積極的な取り組みを育成する授業改善ができたか。<br>②「豊高手帳」を活用し、時間の管理等を含めた自己管理ができたか。<br>③授業3ヶ条の励行を生徒に呼びかけたか。   | 目標が概ね達成できた。<br>①研究授業や授業公開で、ITの活用や対話的な学習を進める授業改善に努めた。また、校外で開催された各種研修会に参加し、指導力向上にも努めた。<br>②手帳に学習時間、定期考査の結果、反省等を記録させ、自己管理を促した。またクラス担任はその活用状況を把握し、日々の指導に生かした。<br>③集会などの機会を捉えて授業3ヶ条の励行を呼びかけた。 | B   | 引き続き自己管理を徹底させると共に、積極的な自学自習や家庭学習の時間を増やす工夫が必要である。  |
| 2           | 生徒の進路希望は多種多様である。また、大学のグローバル化や入試改革が進行する中で、生徒の進路実現に向けた進路指導を行うためには、的確な進路情報の収集と集約・発信・共有が必要である。生徒の様々な進路希望に対応した、きめ細やかな進路指導の充実が課題である。 | 生徒の進路実現に向け、継続的な指導を行うとともに、指導力の向上を図る。 | ①生徒に対して適切なガイダンスを行うとともに、保護者に対しても説明会を行う。さらに職員向けの研修会も実施し、情報を共有する。<br>②豊高ゼミやその他の進学講習など計画的に実施する。<br>③研修会等への参加を通して、進路情報等を収集・整理し、進路指導に生かす。        | ①効果的なガイダンス・保護者説明会・職員研修が実施できたか。<br>②進学講習等が計画的に実施できたか。<br>③各種研修会等により進路情報を収集し、指導に生かすことができたか。 | 目標がほぼ達成できた。<br>①各年次とも生徒・保護者に適切なガイダンスや説明会を実施することができた。職員研修会では総合的な探求の時間を念頭に置いた研修会ができた。<br>②豊高ゼミやその他進学講習を年間通して計画的に実施できた。<br>③大学や外部団体が実施する各種研修会に参加し、情報の収集と集めた情報の共有を図り、さまざまな形で指導に生かした。         | A   | ①生徒や保護者に対するガイダンスや説明会、職員研修会をより良いものとするため、さらなる情報収集や研修をおこなう。<br>②豊高ゼミや進学講習を生徒が積極的に参加できるようにする。<br>③来年度、新入試が始まるため、さらなる情報収集に努め生徒・保護者に積極的に情報を提供が必要がある。 |
| 3           | 年を追うごとに、学校全体としての落ち着きは増しているように感じる反面、教員の目の行き届かない場面における生徒個々の規範意識の低さには物足りなさを感じざるを得ないことが、当面の課題である。                                  | 登校指導ほか校内における指導の充実と継続的な指導の実施を図る。     | ①生徒の現状および実態把握に努める。<br>②統一基準に基づいた年次ごとに差異のない指導の実践。<br>③各種検査・点検時の事前・事後の指導の充実。   | ①積極的な「声かけ」を通じて、生徒とのコミュニケーションを図ることができたか。<br>②適切な情報交換が行えたか。<br>③前年度と比較し、違反者数が減少したか。         | 目標がほぼ達成できた。<br>①登校指導において、実態(現状)把握ができた。<br>②年次の枠を越えての情報交換と統一的な指導の実践が図れた。<br>③明らかに減少している。  | A   | 校内的には、著しくよい方向に向かっていくが、教員の目が行き届かない所での立ち振る舞いなどが課題である。服装(女子のスカート丈)から交通マナーに至るまで、本当の意味での規範意識の定着のために何ができるかを検討する必要がある。                                |
| 4           | 新たな実行委員会組織による豊高祭および球技大会がスタートして今年で4年目となる。運営方法や形態を更に発展させつつ、生徒会本部との連携も探って行きたい。生徒会本部の組織改革も大きな課題である。                                | 各種実行委員会や生徒会本部を機能させ、行事等の円滑な運営を図る。    | ①LHR や委員会での指導を通じて、新たな組織での運営を更に定着させる。<br>②生徒会本部や実行委員会の組織を見直し、引き続き改善を図る。   | ①新たな実行委員会組織がより定着したか。<br>②生徒会本部や実行委員会の組織を見直し、継続して改善が図れたか。                                  | ①実行委員制が定着し、学校行事を活性化させることができた。<br>②生徒会本部役員の構成を変更し、それに伴う活動の見直しを行った。本部役員と実行委員が協力して行事運営にあたることができた。   | A   | 生徒会本部の構成を変更したことにより、徐々に定着しつつある。次年度は、生徒会本部・実行委員会の活動や指導体制をさらに充実させる必要がある。  |
| 5           | 中学校訪問などの地道な広報活動により、志願倍率も上昇し、豊岡高校に対する中学生や地域社会からの評価も高まった。安定した生徒募集に向け、全職員による広報活動体制の維持が課題である。                                      | 十分な情報発信を行うために、全職員による広報活動体制を維持する。    | ①全教職員の協力により、学校説明会等を開催する。<br>②情報発信の量と質を高める。<br>③多角的な手段により本校をPRする。   | ①全教職員が広報活動に参加できたか。<br>②発信した情報の量と内容は適切であったか。<br>③多角的な手段により広報活動が展開できたか。                     | 当初の目標以上の成果が得られた。<br>①進学フェアや学校説明会を全職員で分担し、協力して行った。<br>②WEBや横断幕を利用して情報提供を行い、また中学校や塾に広報活動を行った。  | A   | 進学フェアや学校説明会を学校全体で取り組むための校内の協力体制も整った。近隣の中学校や地域にも好印象をもたれるようになった。今後は学習・特別活動ともリーダーになれる生徒が入学してくるようにはたらきかける必要がある。                                    |

|                   |  |
|-------------------|--|
| 学校関係者評価           | 実施日 令和2年2月12日  |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | <p>高校時代は最も学習能力の高い時期であり、予習・復習の学習習慣を身につけることはとても大切なことである。受験に対する切迫感がなかなか自覚できない。できるだけ早いうちに自分の進みたい道を見つけられれば、学習に対するモチベーションが高まる。新学習指導要領が目指す人間像の育成のために、今までとは違う深い学びを総合的な探求の時間等を通して学校全体で取り組むようにしてはどうか。</p> <p>目に見えて成果が上がっている。これも教員の指導の賜物と生徒のがんばりの結果である。進路実績が学校の評価になる。今後はやってきた部分でどこが不足だったかをよく考えて、指導計画を立てると良い。大学進学だけでなく専門学校への進学や就職を考えている生徒もいるので、多様性のある進路ガイダンスを開催してほしい。</p> <p>スマホの使い方は専門家を招いて講演をするなど、きちんと指導しないといけない。長時間使用や就寝前の使用は健康を害するし、ネットトラブルも心配である。スマホも使い次第では、生徒の興味や関心を広げ、学習意欲の向上につながることもある。</p> <p>進学重視型の単位制高校を全面に押し出しているが、それだけでなく生徒はのびのびと充実した学校生活を送っており、大変よい学校だと思う。自分の実績を上手に示すことができるプレゼンテーション能力は社会に出てからもとても大切なので、伸ばして行ってほしい。</p> <p>周辺の中学校から長い間、豊岡高校を見てきた。ご苦労があったと思うが、着実に成果は上がっている。豊高ゼミの実績等を中学生に示せば、本校に進学したいという中学生がもっと増えるのでは。</p> |